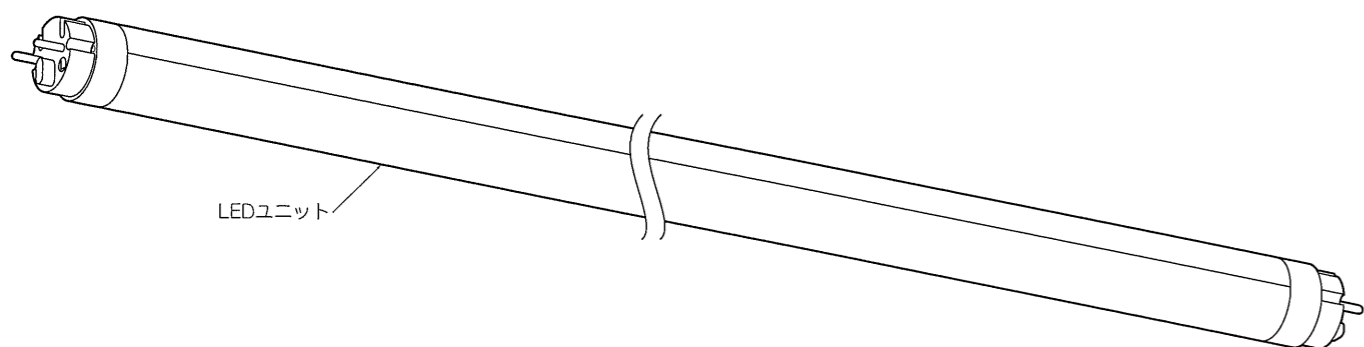


LEDZ

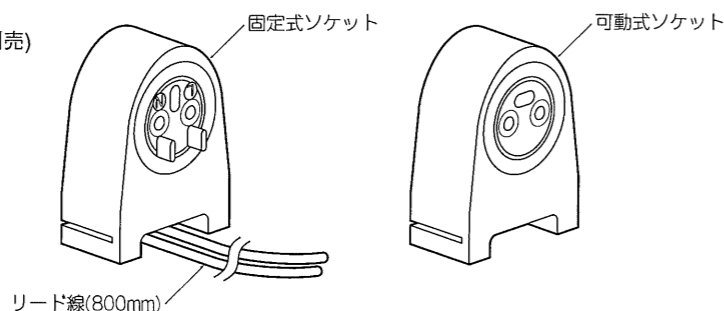
【型番】 RAD-438N, RAD-438W, RAD-449N, RAD-449W, RAD-449WW, RAD-449L, RAD-450N, RAD-450W, RAD-453N, RAD-453W, RAD-454N, RAD-454W, RAD-473N, RAD-473W

◆各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です



RX-199N(2個1組)
(専用交換ソケット：別売)



◆仕様

ユニットタイプ	型番	ランプ色	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力	
ホワイトチューブ	RAD-438N	昼白色タイプ	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	87mA	8.5W	
	RAD-438W	ナチュラルホワイトタイプ			200V	45mA		
	RAD-449N	昼白色タイプ			242V	39mA		
	ホワイトチューブ	RAD-449W	ナチュラルホワイトタイプ	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	163mA	16.0W
		RAD-449WW	温白色タイプ			200V	85mA	
		RAD-449L	電球色タイプ			242V	73mA	
	ホワイトチューブ	RAD-450N	昼白色タイプ	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	243mA	23.8W
		RAD-450W	ナチュラルホワイトタイプ			200V	125mA	
						242V	106mA	
ホワイトチューブ	RAD-473N	高演色昼白色タイプ	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	243mA	23.8W	
	RAD-473W	高演色ナチュラルホワイトタイプ			200V	125mA		
					242V	106mA		
オプティカルチューブ	RAD-453N	昼白色タイプ	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	163mA	16.0W	
	RAD-453W	ナチュラルホワイトタイプ			200V	85mA		
					242V	73mA		
	オプティカルチューブ	RAD-454N	昼白色タイプ	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	243mA	23.8W
RAD-454W		ナチュラルホワイトタイプ	200V			125mA		
					242V	106mA		

△ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

■清掃方法について △注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。

●電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店が、最寄営業所へお問い合わせください。

RAD438N-T

◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

◆施工に関する注意

- ・製品を落下させる等の強い衝撃を与えますと、製品が変形し接触不良に至る場合があります。また、内蔵されている電子部品が故障に至る原因となります。
- ・既設器具への適合性確認が必ず必要です。既設器具のタイプによって、取付けられない場合があります。
- ・交換には、配線工事などの施工が必要です。
- ・既設器具の使用環境や使用年数によっては、劣化・損傷しているおそれがありますので十分ご確認ください。

◆取付方法

1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。
△ 感電の原因となります。

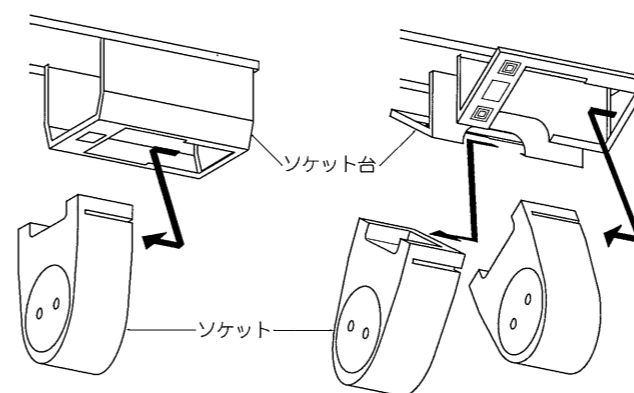
2. 既設器具のランプ、反射板、ルーバーなどを取外し、配線工事ができる状態にしてください。
※取外しの際、既設器具の取扱説明書を参照して取外してください。

3. 既設器具に配線されている電源線とソケットの器具内配線を切断してください。

4. 既設器具のソケットをソケット台から取外してください。

<1灯用の場合>

<2灯用の場合>

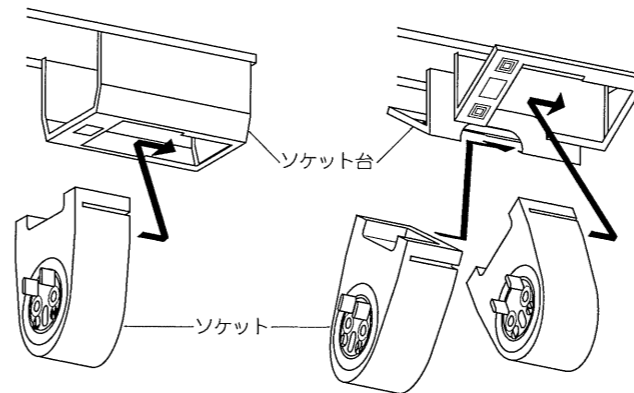


※既設器具により、ソケットやソケット台の形状が異なる場合があります。

5. 専用交換ソケット(RX-199N：別売)を既設器具のソケット台に取付けてください。

<1灯用の場合>

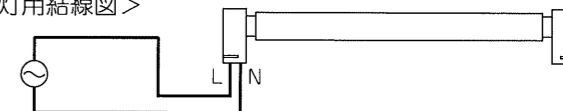
<2灯用の場合>



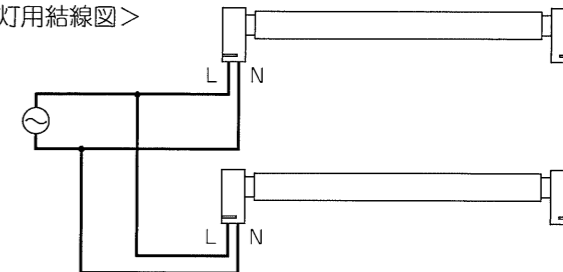
※取付けの際、可動式と固定式が向かうように取付けてください。

6. 電源線を固定式ソケットのリード線と結線し、絶縁テープなどで確実に絶縁処理を行ってください。

<1灯用結線図>



<2灯用結線図>

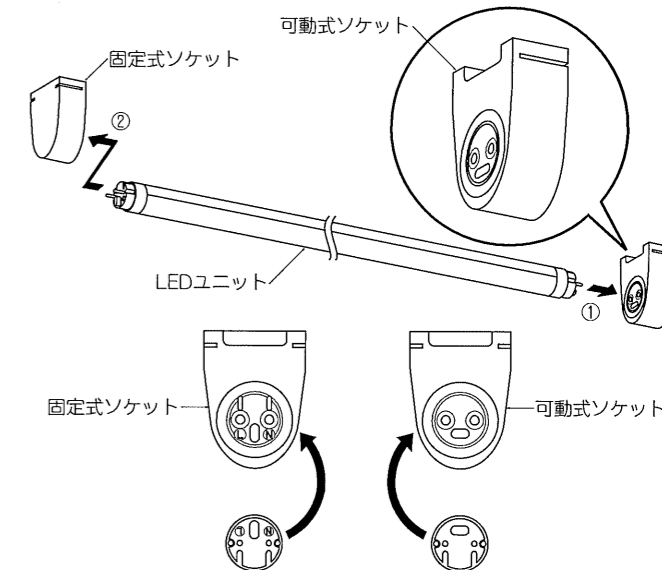


△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

7. 反射板を既設器具に合わせ、ローレットビスで取付けてください。

△ 取付けが不十分な場合、ユニットおよび部品落下の原因となります。

8. LEDユニットをソケットに確実に取付けてください。
●可動式ソケット側にLEDユニットを差し込んでから、固定式ソケット側に差し込んでください。



△ 接続不完全や取付方向が反対の場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 取付けが不十分な場合、部品落下の原因となります。

△ LEDユニットがしっかり固定されているか確認してください。落下の原因となります。

◆可動範囲

- オプティカルチューブユニット RAD-453N, RAD-453W, RAD-454N, RAD-454Wは照射方向が調整できます。
- 装着した状態でLEDユニットを回転させてください。

